昭和39年6月24日　（昭和34年9月30日第三種郵便物認可）　壬生町政だより　（毎月24日発行）　第66号

壬生町政だより

39年6月号

No. 66
毎月1回発行
発行所　栃木県壬生町役場
印刷所　株式会社　新生社

諸統計より

人口統計

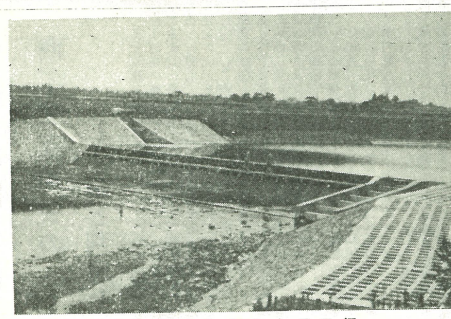
		対前月比
昭和39年6月1日現在		
総人口	24,142人	5人増
男	11,762人	8人減
女	12,380人	13人増
世帯数	4,605世帯	3世帯減

24ヘクタールの田生きる

姿川上長田堰の完成

姿川上長田堰が五月二十六日現地で、盛大に竣工式を祝いました。この堰はコンクリート廻転自動堰の型式で長さ三十一米練石づみ護岸八十米で総工費七百二十二万九千円です。事業費の内訳は国庫補助が八割五分五厘地元負担です。

この堰は、前の木工沈床型の堰が昭和三十六年六月の前線豪雨のために流失してしまい、二十三・五ヘクタールに亘る田の用水に大きな被害を受けて、早速六十八戸の農家では（代表上長田堰共同施工中川猶治）町長に陳情、相談の結果永久堰を造るべく運動することになり、設計は役場土地改良係が受持ち、農林省や県に陳情の結果、高率適用国庫補助をかく得して今回の立派な堰が実現したものです。県内でもこの種の堰はめずらしいケースといわれています。



写真＝完成をみた上長田堰

第一次補正予算

墓地の無償払下げも可決

6月の臨時町議会

昭和三十九年度の第三回壬生町議会臨時会は五月二十九日、午前十時に役場に招集され、附議案件は、化城院一反六畝二三歩、上田寺一反六畝二三歩、真照寺三畝一二歩、安昌寺一反五畝一〇歩、不動院三反二畝二八歩、宝光院五畝三歩、合計で、二町四反二畝。四歩となった。

決定になった主なものは、

▽財産の無償譲渡について

壬生町管内の各寺院の境内墓地は、町有財産になっており、この無償払下げ申請が各寺院よりなされこの議会で議決された。

常楽寺三反三畝〇四歩、興生寺五反八畝一七歩、興光寺二反二畝〇二歩、千手院六畝九歩、化城院一反六畝二三歩、上田寺一反六畝〇五歩、真照寺三畝一二歩、安昌寺一反五畝一〇歩、不動院三反二畝二八歩、宝光院五畝三歩。合計で、二町四反二畝。四歩

▽壬生町保育所の名称改正

壬生町立第一保育所―舟町
壬生町立第二保育所―安塚

▽昭和三十九年度一般会計壬生町歳入歳出補正予算（第一号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ六百三十三万九千円を追加して総額を一億七千五百十二万円とした。

南犬飼支所の建設費で百万円、壬生小学校プール建設資金として寄附金（二百十万円）と国庫補助（八十一万三千円）で三百万円計上した。

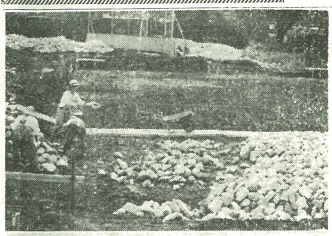
また栃木警察署新築負担金（百七十九万五千円）、その他

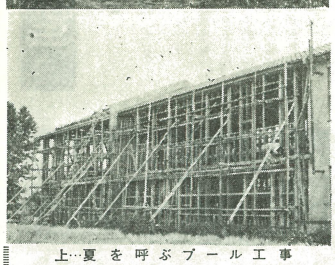
▽母子健康センター運営委員会の設置条例

母子健康センターの運営の適正化を保つために運営委員会の設置を決定メンバーは、町議三名、町内の開業医一名、婦人会代表三名、助産婦一名、国保運営委員一名、学識経験者一名、計十名で町長が委嘱する。

父兄の熱意でプール建設

壬小創立九十周年記念





上…夏を呼ぶプール工事
下…進行中の増築校舎

みでバックネット、砂場、はん登棒をとりはずして七七九平方米の敷地に二十五米、六コース、深さ一・一〇米のプールができます。

この事業は壬生小学校創立九十周年記念事業として壬生小学校プール建設実行委員会が募集金二一〇万円を含む三百万円の予算で建設されるものです。

このほか男女更衣室、シャワー室、消毒室、便所など附属施設も設備される予定です。工事完成は八月十日の予定で請負は斎藤建設です。

旧校舎

壬生小学校の南北にはしる一六二・五坪の校舎をこんととりこわすことになりました。

新校舎

七月中に完成する壬生小学校の増築新校舎は着々進行しています。

木造瓦葺、モルタル二階建で一階は理科室が二教室、準備室が一教室、二階は音楽室が二教室の特別教室ができます。

永年町議員を表彰

下都賀郡町村議会議長会長では永年地方自治功労のあった町村議員の表彰式を五月十三日、栃木市の下都賀庁舎で行ない壬生町から次の方が表彰されました。

▽斎藤米吉氏（十五年）
▽長保俊氏（十五年）

街路灯の工事おわる

壬生町商工会の街路灯のとりつけ工事は着々とすすんでいます。写真のように立派なもので、六月一ぱいには完成の予定で夜の壬生町も一段と明るくなりましょう。

写真＝街灯の取付工事

辞令

（四月一日付）

▽壬生町健康保険運営協議会委員、大橋普一郎▽同青柳金庫

（六月十六日付）

▽兼務壬生町母子健康センター所長　鯉沼一道
▽兼務　同勤務矢口英俊
▽兼務　同勤務坂本サクヨ
大木シゲ、鈴木イヨ
▽壬生中学校司書補　山川節子（五月十二日付）
△第一保育所保母　六川和衣（五月二十日付）
▽壬生町母子健康センター公住　田島作治、同給食婦、田島好子（六月一日付）
▽第二保育所（安塚）保母　大塚美也子
同　佐藤揚子
（六月十六日付）

町営住宅の入居者

かねて建設されていた町営住宅は、六月八日午前十時役場で、入居者の抽せんが行われました。

申込者全員が集まり、抽せんの結果、次の方々が決定しました。

▽第一種（一戸建・九戸）菊地久男、井ノ井晃、和貝清、近藤啓三、江田敬吉、吉沢清司郎、田キヨ子。
▽第二種（四戸建・十二戸）綱川朝泰、山田信三郎、綱川マツ、藤田幸右エ門、横井昇、高橋清、加藤柳治、小林仲雄、入江克吉、小川富美、井上平、田村忠夫
以上二十一名が決定
六月十三・十四日の両日に入居しました。

自衛官の募集

このたび防衛庁では、二等陸士、二等海士および二等空士を募集しています。

◇募集人員

陸士　約五〇〇〇名
海士　〃　六〇〇名
空士　〃　九〇〇名

◇募集期間

七月一日から九月三十日まで。

ふるってご応募ください。

六月の納税

国保税　第一期分
町県民税　第一期分

お知らせ

納付書で納入

ねんきん保険料

ねんきん保険料の、納入方法がかわります。

（納期七月）

第一期分の保険料から、町県民税国保税と同様に、納付書により納めていただくことになります。

今までの納入方法では

①年金手帳の紛失が多い
②集金の際手帳がみつからず、一回で集金できない
③年金手帳が荷物になりますと水気で不便である。
④納期毎に通知がないので忘れがちである。

以上のような意見が多く、これらの不便を解消するため、納付書方式を採用することにしました。従って、手帳は一括保管しますから、保険料納入の際役場係まで、お手数でも、お届け願います。保管した手帳については保管証を発行いたします。

税の相談

相談日は五の日

毎月五日、十五日、二十五日

（この日が日曜・祭日のときは翌日）に税の相談を行なっております。

気軽に相談して下さい。

～栃木税務署～

北方地域への墓参に関する遺族調査

民生課では北方地域の墓参について現在、遺族等の調査を致しております。北方とは歯舞、色丹国後と択捉の各島です。

ご関係のある方は至急民生課までお申出下さい。

道しるべ

五十

五名が水のなごせいなのりました。これは昨年の県内の小学生と以下の子どもたちの内、それぞれ占めるこの原因による不熟です。

▽親のない子
▽水泳の未注意
▽夏のシーズンなど

先だち（）水泳には児童が（）幼ない（）遊ぶ（）用で（）堀の（）近（）体の（）疲れ（）ばせ（）ないと（）ころに（）病気（）のあるときは（）水遊びはさせないよう注意を。

テレビ

ビを長くみていると目に悪い、とは一般によくいわれますが、しかし、ることと疲労はテレビをみるときの条件さえよければ、かなりの予防ができます。

テレビの位置は画面に窓や電灯の位置に映ったり画面後ろが明るすぎたりしないような所におくこと。明るい窓にはカーテンを

扇風

機の風にあうと涼しくなるのは皮膚から熱気をさらわうからだめですが、一般には一定の温度の幅をこころよく感じるようです。

温度の幅はいろいろ。「快適」この温度とよびます。氏二十六度くらい一七度くらいまで。

ズック

の運動靴は新しいうちに暖めてなじみこませ、水気にもよく強く、大へん長もちします。

防水

された衣服のシミを抜くとき、揮発油を用いますと、防水も落ちてしまいますから注意してください。

自宅分娩は不衛生

利用しようあなたの施設

壬生町母子健康センター

壬生町母子健康センターは町の条例で次のとおり決定しました。

▽壬生町に居住する者

入所料＝一日につき三つき八十円

分娩料＝一件につき四百円

未熟児介補料＝一日につき五十円

▽他市町村に居住する者

入所料＝一日につき四百円

分娩料＝一件につき五千円以内

未熟児介補料＝一日につき千円

この施設では

①妊産婦の保健指導

②乳幼児の保健指導

③家族計画

④助産

⑤その他

など母子の福祉向上を目ざして事業を行います。

その際の入所の使用料は家族計画指導料＝一人、につき五十円

○入所の手続き方法

入所申込み書に記入の上直接母子健康センターに申込み下さい。

なお申込み用紙はセンターと助産婦さんの所にあります。ご婦人のセンターとして大いにご利用ください。

（写真＝店開きした母子健康センター全景）

商工業互助会のしくみと利用を

壬生町商工業互助会は中小規模の商工業者を誠実に真面目に経営せられる方々に対してその経済的地位の向上を図ることを目的とし、安易な気持で融資の相談を受ける機関として、壬生町および壬生町商工会が栃木県信用保証協会および町内金融機関の協力を得て組織している公益機関です。

この度、本会は規約の一部を変更して、事業の貸付限度額を金三十万円に引上げ返済期間も一年以内に延長し、資金の用途を運転資金の他に設備資金も取り扱ったりして商工業者の皆さんに充分利用していただくことに致しました。

どうぞお気軽に役場経済課商工係または壬生町商工会にお申込み下さい。

なお、町内の協力金融機関は利銀行壬生支店および宇都宮信用金庫壬生支店です。

産業統計調査

商店のみなさまにお願い

七月一日現在で全国の卸売業小売業など全部の商店について商業の統計調査を実施することになりました。

この調査は指定統計調査として、すでに昭和二十七年から二年ごとに行なわれているもので今回は第七回目の調査です。

この調査の目的は、商業金融のほんとうの姿をつかんで適切な商業政策を立てる上の基礎資料に役立てるために行なうものです。調査事項は商店の従業者、販売額など商店の分布状況とか商業活動などのようなことについて調査します。

通商産業省では、この調査の実施に当っては知事から任命された調査員がみなさまのお店を訪問し、各項目の記入内容についてお聞きします。

この調査の趣旨をじゅうぶんご理解のうえ、進んで調査票をご提出くださるようお願いします。

この調査は統計法で固く禁じられています。

この調査は指定統計調査として、すでに昭和二十七年から二年ごとに行なわれているもので今回は第七回目の調査です。

この調査の目的は、商業金融のほんとうの姿をつかんで適切な商業政策を立てる上の基礎資料に役立てるために行なうものです。調査事項は商店の従業者、販売額など商店の分布状況とか商業活動などのようなことについて調査します。

この調査の趣旨をじゅうぶんご理解のうえ、進んで調査票をご提出くださるようお願いします。

この調査は統計法で固く禁じられています。

愛の手が築く　明るいよい社会

ベビー・コンクールに入賞

紀子ちゃんと則昭君

第九回ベビー栃木コンクールが五月二十五日宇都宮市の太子会館で行われました。

右が玉田紀子ちゃん　左は鈴木則昭君

県下満一才児の赤ちゃんが参加し、健康優良児、人口栄養児、育児努力家庭の三つに分けて審査されました。

壬生町では、五人が参加してその結果二人の赤ちゃんが入賞しました。

○健康優良児

城東町　玉田紀子ちゃん（玉田重利一氏長女）

○人工栄養児

城東町　鈴木則昭君（鈴木満一郎氏長男）

昭二氏長男）

六月三日午前十時県庁日本橋人形町花屋で西川春季総会は、五月二十七日午後五時半より中央区会長や由川幹事はじめ四十名が出席、会長挨拶の後昭和三十八年度の会計報告などがありました。

壬生町からは小田垣町長、田辺総務課長が出席して懇談しました。

なお郷友会では会員の入会を勧誘して、今年は、在京の知り合の方々にぜひおすすめ下さい。

連絡先は次の所へおねがいいたします。

○東京都三鷹市牟礼一二六四　山川滋氏へ。

郷友会の春の会合

在京の壬生町出身者の団体である壬生郷友会の

氏長女）

農繁期の季節保育所

藤井地区に開設された季節保育所は六月四日から二十四日まで開かれて農繁期で忙しい農家にとって大変喜ばれました。臨時保育所になった円照寺境内には砂場やブランコで楽しい毎日を過しました。

お世話してくださった方々は保母さん、若妻会の人たち、壬生町婦人会員や栃農高の女生徒さんが家庭科の実習として、みなさんの善意が実ま降の発見者壬生高校渡辺教諭の案内で視察施設から望んだという乾山の手挽にある西の山々をスケッチなどした。

常楽寺は寛正三年壬生築後守胤業の建立とわれ、壬生家累代の墓に参拝され、古文書などを熱心に研究された。

これより先、佐野市市は、乾山と親交のあった故人たちの墓所である宝竜寺、光明堂、願成寺や田沼町の蓬来山を訪れました。

【写真＝楽しい季節保育所の一日】

英国の陶芸家リーチ氏来壬

英国の陶芸家バーナード・リーチ氏は六月六日来壬、武蔵野美大助教授水尾比呂志氏、同行の郷土史家石塚青魏氏と共に仲通町の常楽寺を訪れました。

この目的はリーチ氏が今年秋に出版を予定されている「光悦、宗達、乾山考」の為に、乾山手控の原本を拝見にあ

具慶尼庵跡をしらべるリーチ氏（中央）

常楽寺には小田垣町長、塩町長、大垣壬生保護委員長、藍田教育長、壬生住職などがリーチ氏等を出迎えました。

具慶尼の庵跡や乾山が壬生で焼物をやいたかまま跡の発見者壬生高校渡辺教諭の案内で視察施設から望んだという乾山の手挽にある西の山々をスケッチなどした。

常楽寺は寛正三年壬生築後守胤業の建立とわれ、壬生家累代の墓に参拝され、古文書などを熱心に研究された。

これより先、佐野市市は、乾山と親交のあった故人たちの墓所である宝竜寺、光明堂、願成寺や田沼町の蓬来山を訪れました。

社会を明るくする運動

この運動はすべての国民が犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、進んでそれぞれの立場において明るい社会をきずこうとする全国的な運動です。

そこで今年はみんなで次のことを実行いたしましょう。

▽町内会や隣組で非行防止について話し合いましょう。

▽他人の子供も自分の子供と同じにみちびいてあげましょう。

▽問題のある子供で困ったときは、保護司や児童委員少年補導員等に相談しましょう。

歴代の壬生城主

前述の通りその墓碑により直訴事件までおこした加藤氏の前城主が松平右京太夫であり在任わずか三年、その前の城主が三浦氏（正次、安次、直次の三代）で寛永十五年から元禄五年まで約五十四年間の在任であった。

松平氏は徳川幕府連枝の西の部を流れていた黒川を町の東に流して多年の水災の難を軽減し又多くの良田良畑を殖したことである。この事業は実は領内の検見はどこの大名もよくやったことで領民にすれば誠に有難いい重税となることで一例をあげれば三浦氏検見前の下稲葉村の総石高は五百五十三石二斗であったものを検見後は新石高九百七十五石九斗四升と殆ど倍近い。これによって税額が割つけられるのであるから百姓は泣かされたことである。

しかし三浦氏の善政として称えられるものは羽生田峰山の堀割堀切である。これによって従来壬生町の西部を流れていた黒川の流路は、夜は寝の流れとなり、夜は寝の流れとなり、夜は寝の流れとなり